

陳情第10号

国に防衛力強化の一環として、食料安全保障を重要視することに関する陳情書

令和7年4月18日付けで受理した別紙の陳情書を、議会運営委員会の決定により配付する。

令和7年6月9日 配付

京丹後市議会議長 中 野 勝 友



国に防衛力強化の一環として、食料安全保障を重要視することに関する陳情書

陳情の趣旨

現在、防衛力強化の一環として、軍事装備品を求める要求が多数出ています。しかし、去年のコメ不足で日本中が大騒動、いかに日本の食の、安全、安心の政策は砂上の楼閣であると感じました。

この為、国に対し有事の際、国民が1年間食することができるように、食糧の備蓄を大幅に増やし、食糧備蓄の予算は、防衛関連予算から出すことを求める意見書の提出をお願いする次第です。

理由

現在、国内では反撃能力を高める取り組みが進んでいます。しかし、去年の夏、自然災害が多発する状況を目の当たりにした市民は、各家庭でお米を余分に購入、又新規参入者はお米の買い占めに奔走、この為、スーパー、コメ専門取り扱い業者間で、コメ不足が発生、この状況がマスコミから国内の消費者に喧伝されました。このような状況下から、令和のコメ騒動が発生したと思われます。

しかも、日本の（令和5年度、農林水産省 出典：食料、農業、農村白書、）食料自給率は38%と先進国では最も低い食料自給率です。

よって、有事に備える為、国民が1年間食する事が出来るように食糧の備蓄を大幅に増やすことが必要であり、趣旨のとおり陳情するものです。

令和7年4月15日

京丹後市議会議長 中野 勝友 様

社会の歪を鋭く追及

政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」

代表 加藤 克助

愛知県安城市

〒

